

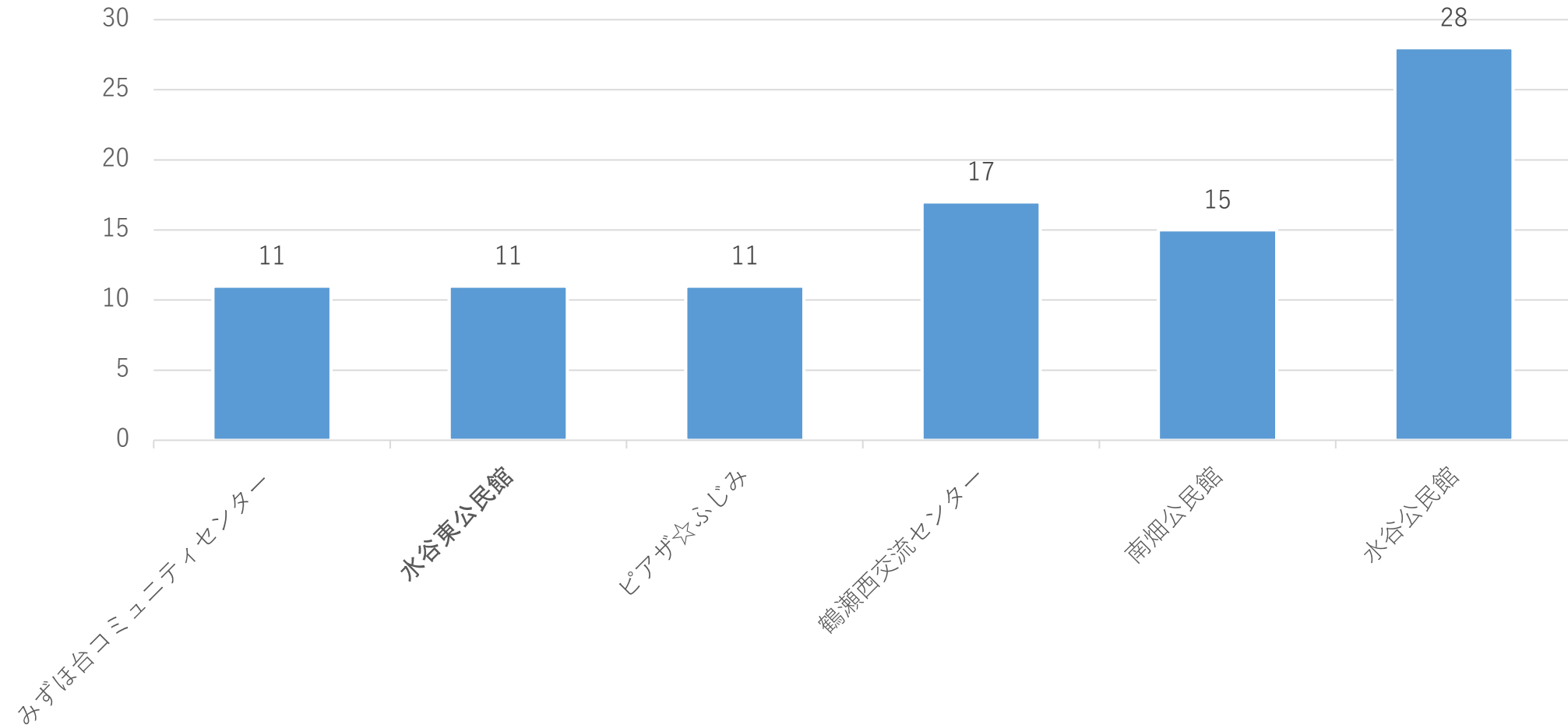
公共施設マネジメントゲーム
体験ワークショップ
於 市内公共施設6か所
アンケート集計結果

参加人数 93名

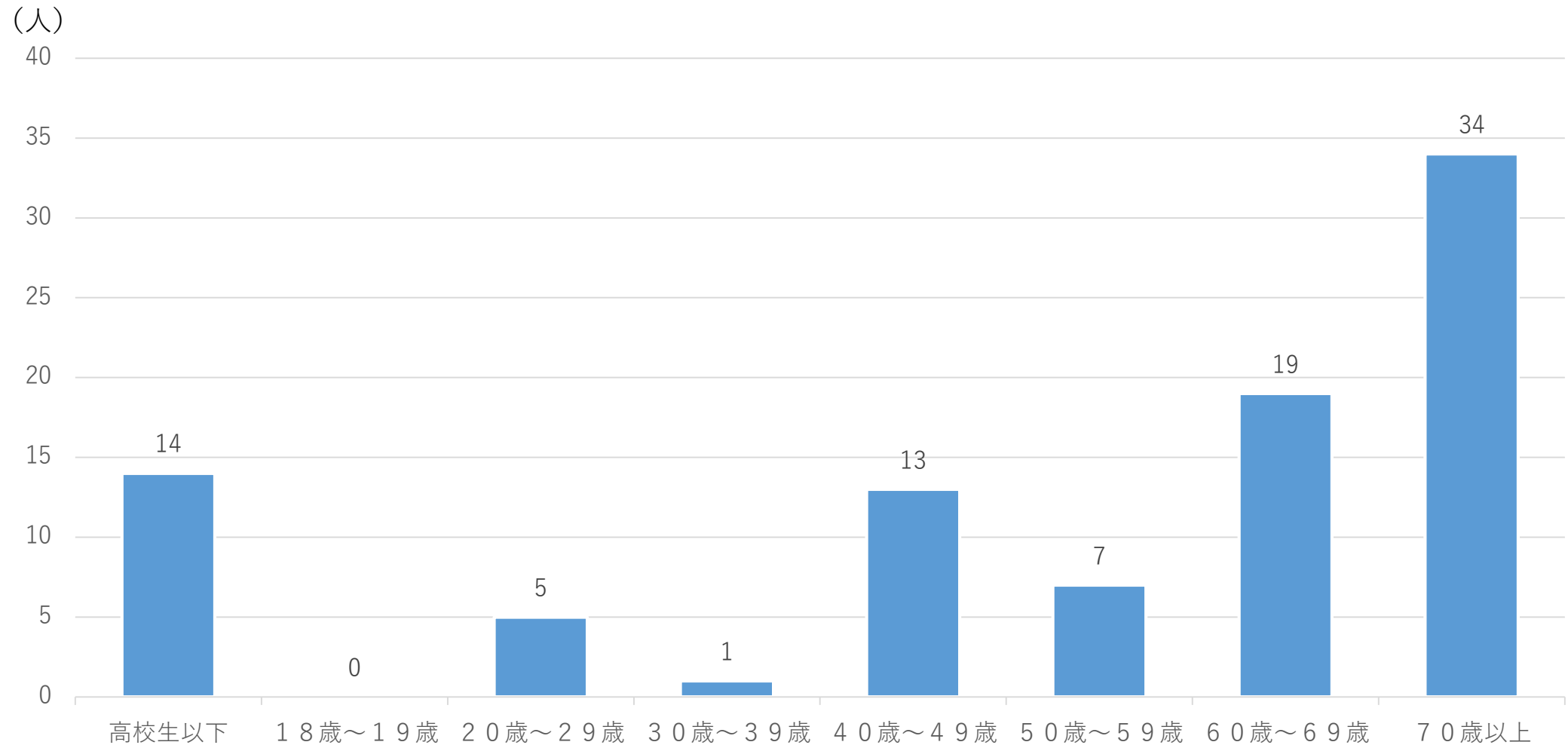
総合政策部 管財課

会場ごとの参加者数のまとめ

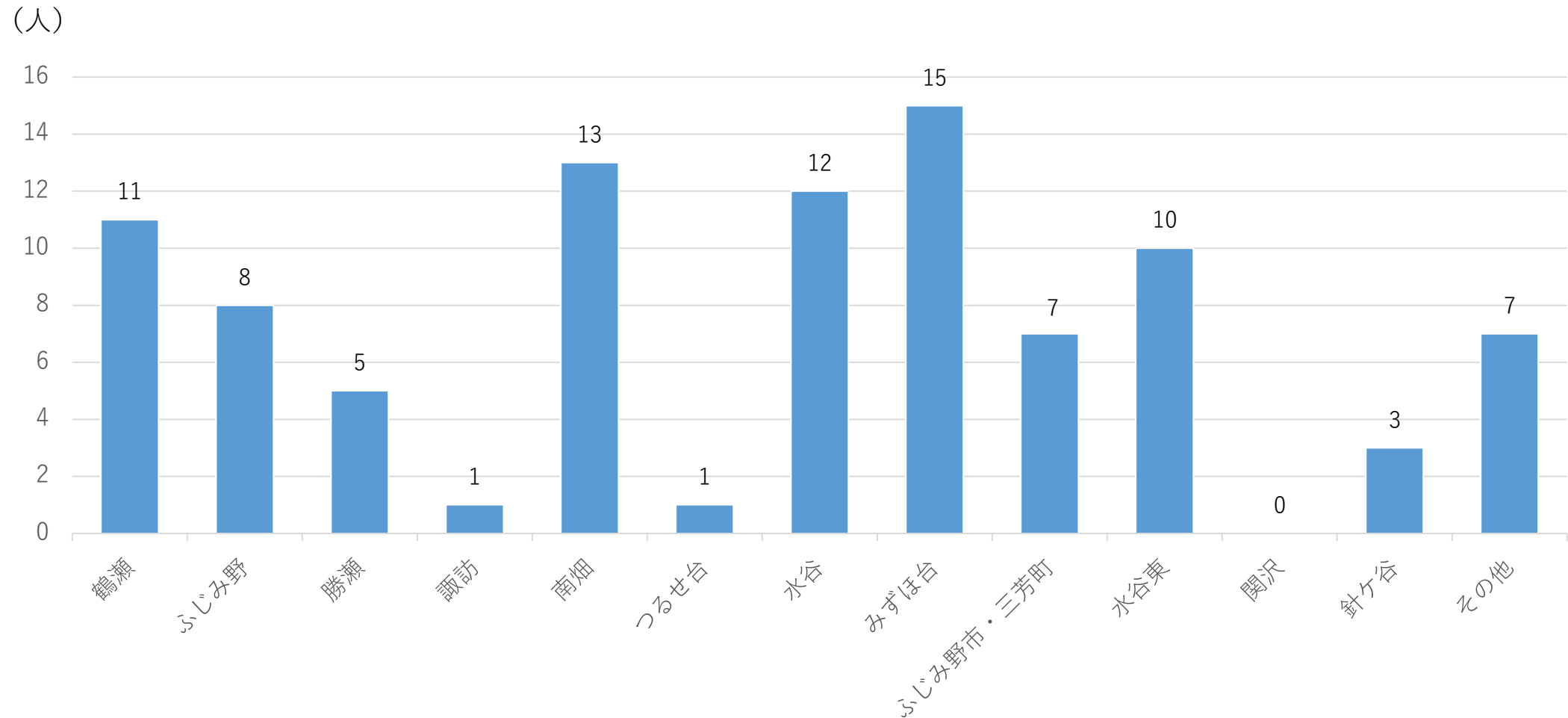
(人)



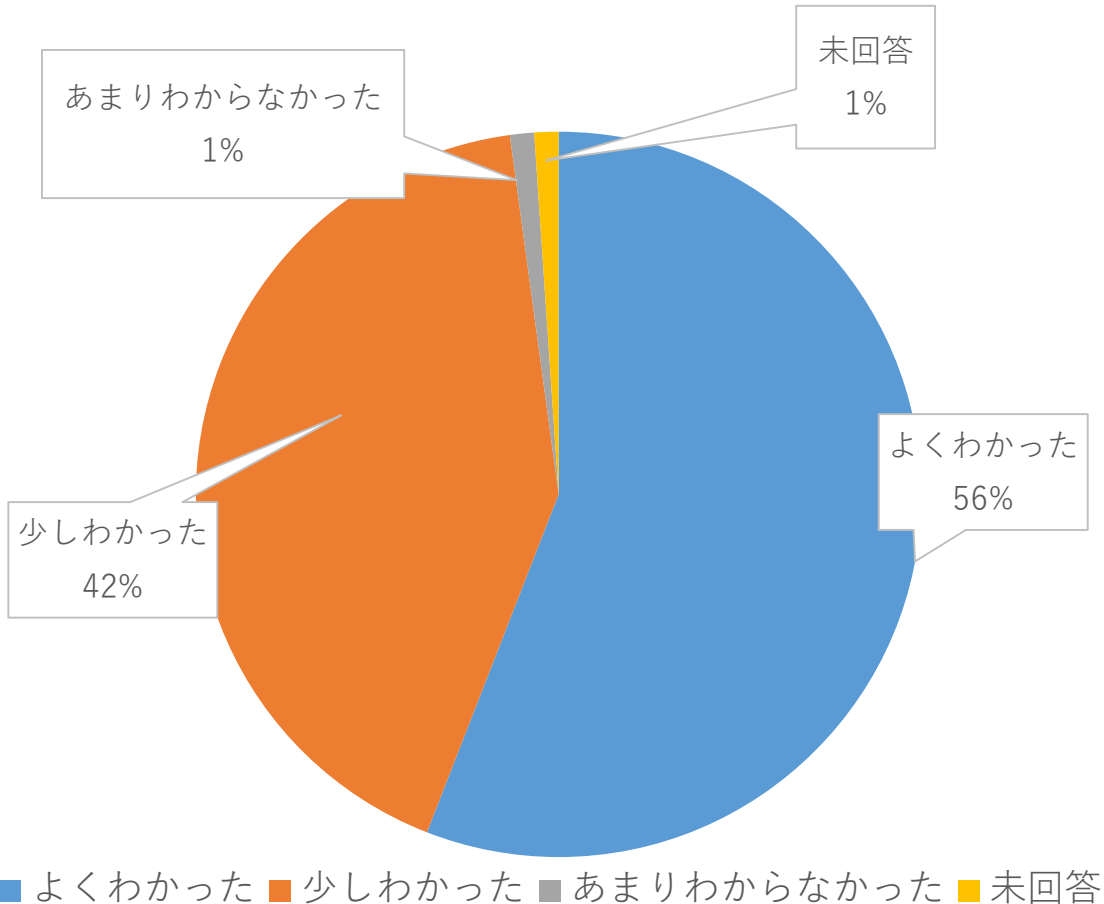
問1 このアンケートに御協力いただくあなたの年齢をお伺いします。



問2 お住まいは、どの地域ですか。(小学校区別)

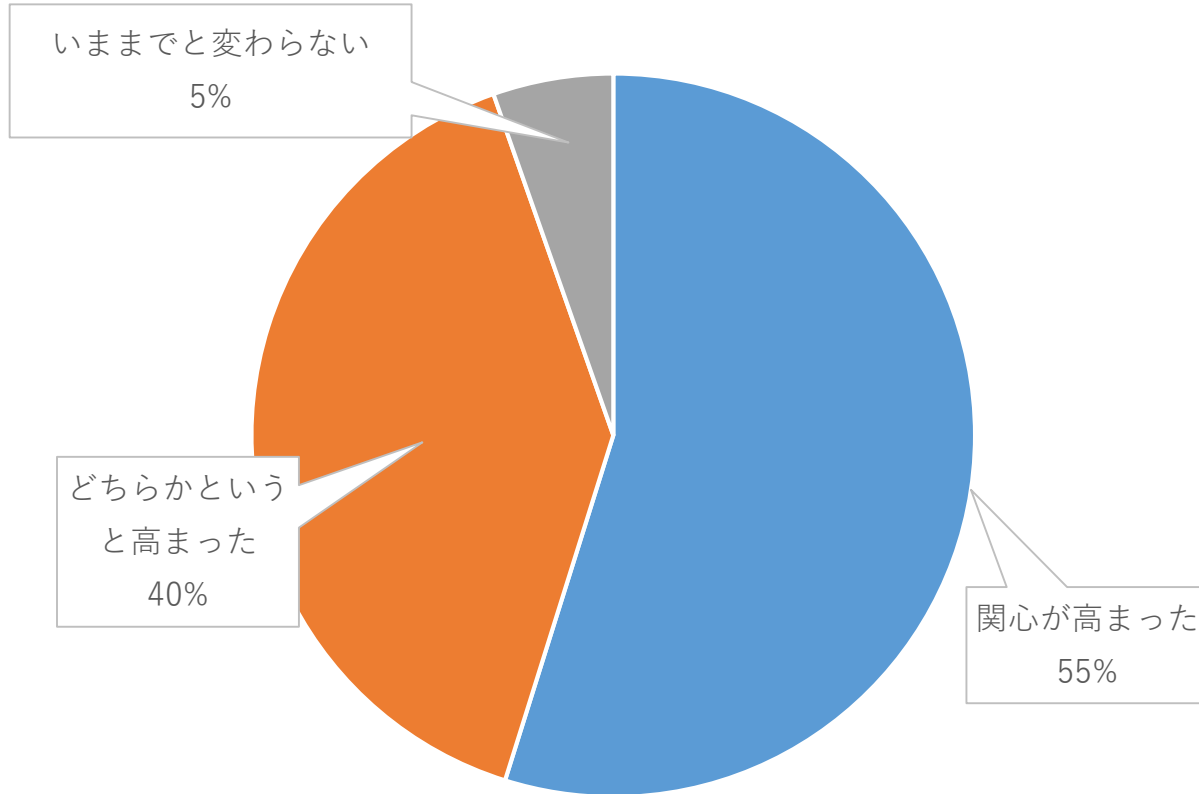


問3 ゲームを通じて公共施設マネジメントへの理解は深まりましたか。



選択肢	回答数
よくわかった	52
少しわかった	39
あまりわからなかった	1
未回答	1

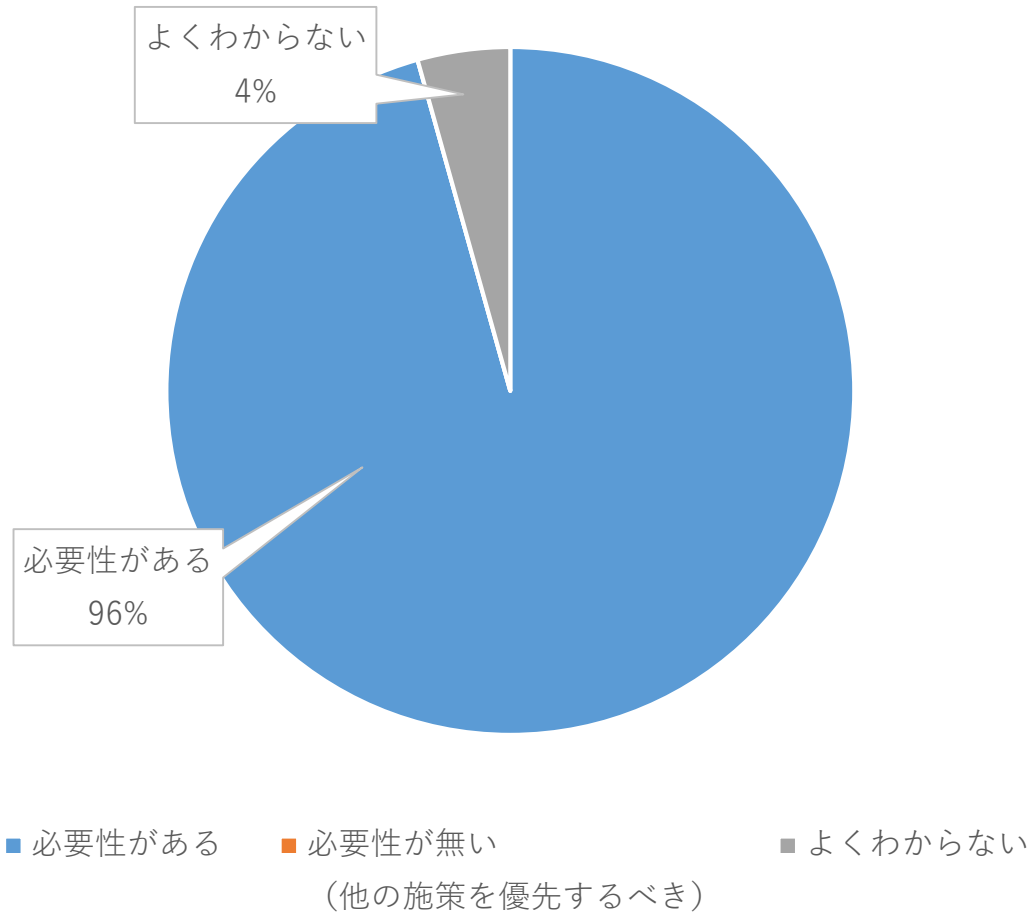
問4 公共施設マネジメントへの関心はどうなりましたか。



選択肢	回答数
関心が高まった	51
どちらかという と高まった	37
いままでと変わらない	5

■ 関心が高まった ■ どちらかという
と高まった ■ いままでと変わらない

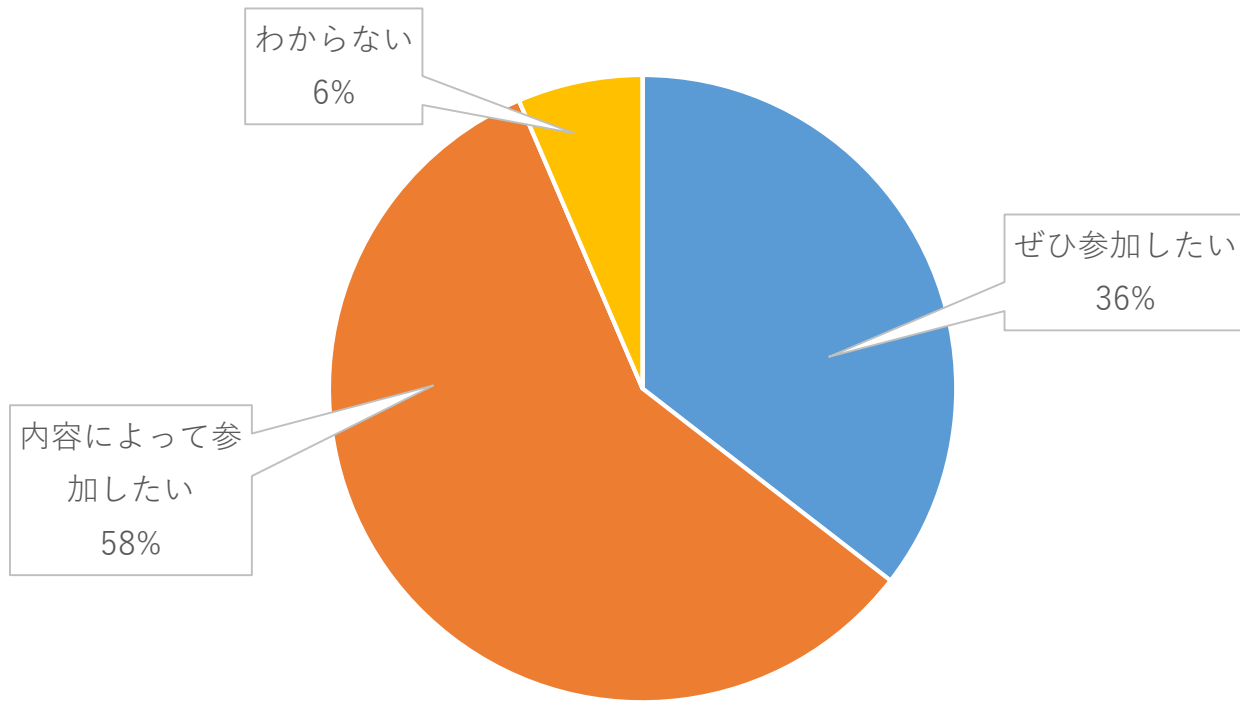
問5 これから市として取り組む公共施設マネジメントの必要性についてどのように感じましたか。



選択肢	回答数
必要性がある	88
必要性が無い (他の施策を優先するべき)	0
よくわからない	4

回答なし1名。

問6 今後、このようなワークショップや説明会を実施する場合は、参加を希望しますか①



- ぜひ参加したい
- 内容によって参加したい
- どちらかというとなんか参加したくない
- わからない
- 未回答

選択肢	回答数
ぜひ参加したい	33
内容によって参加したい (※)	54
どちらかというとなんか参加したくない	0
わからない	6
未回答	0

※内容の詳細は次ページ

問6 今後、このようなワークショップや説明会を実施する場合は、参加を希望しますか②

• 内容によって参加したいと回答した方の詳細

人口減、高齢層増加、子供減少に伴う行政

子供にも参加させてみたいため同様だと望ましいです。

身近な問題については気になる。

事例紹介、ケーススタディ、全体的な事柄だけでなく、個別の施設のケースについても…

実際に施設をつくる説明会に参加したい

高齢者、子供の各施設作り

町づくり

スポーツ施設計画等

富士見市の今後について

現状に合わせたシミュレーション

施設の利用

問7 公共施設マネジメントに関して思ったこと、考えること等 御自由に記載してください

このような機会を今後、更に増やして、市民の理解を深めていく必要があると思います

若い人の参加を！

企画はとても良いと思った。15年から先を考えるものでしたが、小生としては1人住いのため、もっと若い世代の方の参加で、自身が感じてほしい。

大変勉強になりました。

身近な問題としてとらえることができ、有益でした。

都合により、造り変えてしまうと(先行しすぎてしまうと)問題(住民参加)も生じてしまう気がする。

ゲーム方式で参加できて楽しく体験できた。

結構難しかった。

これからの時代、公共施設だけでなくあらゆる事業、組織について同じような「マネジメント」の視点を持つことが必須になってくると感じています。とても参考になりました。ありがとうございました。

今後は施設への交通手段が問題。ただあれば良いだけでは駄目ですね。

予算が減ることが前提では無理があります。景気を良くすることで予算を確保していくことが重要と考えます。

町会長連合会水谷ブロック地区で、12月上旬、ぜひもう一度やってみたい。

生産人口が減り高齢者の増でこれからは、大変な時代になる実感をした。ありがとうございました。

従来の公民館施設は利用・活用しにくいのが実感です。

ありがとうございました。

問7 公共施設マネジメントに関して思ったこと、考えること等 御自由に記載してください

参加型が良い、続けてほしい。

運営する立場から考えることが出来、身近に感じる事が出来ました。

組織内部の合意形成も非常に難しいと感じました。30年後にどうなっていくのか、興味が持てました。

ゲーム形式でかみくだいて、学ぶことが出来たので良かった。単純に、人数、お金のみで、判断して進めたものの、実際はその背景も考慮することも重要と感じた。

現実問題に取り組みたい

ゲーム形式でやることにより楽しく公共施設マネジメントについて知ることが出来て良かったです。ありがとうございました。

公共施設マネジメントを初めて聞きましたが今日でよく学ぶことができました。

公共施設マネジメントに参加して、マネジメントの難しさを感じました。市の住民としても勉強になりました。ありがとうございました。

とてもたのしくこれからの施設が分かった

ある施設の検討会議のメンバーに任命されてるので、今後の検討に参考にしたい。

もう少し公共施設の現状について知りたいと思いました。

職員の皆様におかれましては、休日にもかかわらず開催ありがとうございました。大変参考になりました。

課題をクリアすることに夢中になって、町のビジョン(どういう町にしたいか、そのためにどうしていくのが理想か)についてあまり話せなかったのがちょっと残念でした。ゲーム自体はとても面白かったです。

タイミングとバランスが大事だと思いました。高校生がいて、とても良かったです。

問7 公共施設マネジメントに関して思ったこと、考えること等 御自由に記載してください

ゲームを通じて、公共施設マネジメントの難しさを感じる事が出来ました。楽しかったです。

意外に施設を建てたり複合化したりすることは大変だと思った。

人口減は国全体の問題。施設の維持コストを考えると、集中と選択はやむを得ないが、市が大きな方針(地域開発など)について示し、市民の賛同を得るべきだと思います。

意識を深めて市のことを共に考えてほしい旨を感じました。

公共施設についてももう少し関心を持たないといけないと感じました。いろいろな角度から考えたい。

30年後には学校の廃止が増えると思う。

広い年代の参加を呼び掛けて欲しい。

老朽化問題についてと市民の総意の得難さ

公共施設マネジメントを市民と考えて進めるのはいいことだと思います。

コストパフォーマンスは重要である

おもしろかった

とても難しかったが楽しく参加できた。

内容を理解してからゲームに取り組みたい。

大変ゲームは楽しかったです。時間が足らず、もやもやが残ります。現実的に難しい問題と痛感しました。

問7 公共施設マネジメントに関して思ったこと、考えること等 御自由に記載してください

これからの社会で必要だと思う。

学校や福祉施設、公民館等の新設、廃止、複合化は周りのことについて考えなければいけないということを実感でき、貴重な体験をできて良かった。

このことで分かったことは、減っていくお金、増える高齢者など考えることはたくさんあったのでとても楽しかったです。

今日、この体験をして少しわからないなと思ったこともありましたが、やっていくうちに楽しくできたので良かった。

人を動かすのにも先のことを考えなければならなく、難しかったがとても楽しかった。

人口増減や年齢の変化など先々を想像し、施設の建て替え等考えるのはとても大変なことだと実感しました。

大変参考になり、考える時間になりました。これからも関心をもって見守っていきます。

以上から多い意見をまとめると

- ・若い世代への参加の期待
 - ・公共施設の更新問題に対する問題意識の芽生え
 - ・難しい問題をゲームで学ぶことによる楽しさ、理解しやすさ
- 等の事項について、ご意見をいただくことができました。

参考資料 参加者の御意見（ワークショップ中に出てきたもの）

小学校の学区をまとめることも必要ではないか。
地区ごとの高齢化等の状況に合わせたまちづくりが必要
高齢者と若者が別れて暮らすのは問題である。
どの地区も公平に同じような公共施設の配置が必要と考えるが、今回のゲームで難しいことが分かった。
公共施設の複合化などにおいて、若者と高齢者の多世代交流を実現する施設とすることが必要である。
高齢者ばかりで寂しい地域が発生するのは問題である。
行政は均一に開発しないという考え方・コンセプトも必要である。
住まい・地域の在り方もあり、どの地域も同様に考えるのは難しい。棲み分けする考え方もある。
人口集約するなら、少なくなる地域には自然を残すなどの必要がある。
集約しないと機能しない地域が発生する可能性がある。
各地区バランスとって整備することも、人口集中を意識して整備することも重要だ。
30年後は動く歩道も整備されているだろうという想定などを用いて学校を集約した。
現在のお住まいの地域にあてはめて考えている人もいた。
学校に受け入れの余裕を持たせたが、空き教室になってはもったいない。
学校に地域の施設を複合化するのはいい。

参考資料 参加者の御意見（ワークショップ中に出てきたもの）

老朽化しているところはつぶす判断
教育施設が充実している区画と福祉施設が充実している区画というようなことが起こり得る。
学区編成等による対応も必要か。
小学校に福祉機能を持った施設を複合化することにより多世代交流で教育に寄与する考え方。
施設の複合化を進め、効率よく住める街にした。
人口が多いのに公共施設が少ないところが出てくるような地域では、デマンド交通等の活用を推進するとよいと考える。
敬老会では、市民会館を使うことが多い。
緑化推進や市街化調整区域等のため、地域ごとに人口の差が生じるのは致し方ないと考えることも必要である。
老朽化している施設は気になるところであるが、歴史的に大切なものという考え方もあると思う。
予算をすべて施設に割り当てず、民間企業を活用していく施策に運用していく考えも重要である。
公共施設を建てないサービスの在り方も考えるべきである。
将来は通信教育の進展から学校教室の在り方が変わるのではないだろうか。
人口が減っていく地域は合併などをしていくことを考えていく必要がある。
余った予算を使って、ニーズを満たせなかった市民の要望を聞いて対応する。
土地利用の方法の変更を考える必要もある。

参考資料 参加者の御意見（ワークショップ中に出てきたもの）

人がいない地域は、地区にこだわらず、広域での利用を考える必要がある。
人口と建物の需要と供給の関係が崩れた地域は、市が人口誘導して調整する必要がある。
子供を集めるための受け入れ施設を先に造っておかないと人が増えない。
バランスよく配置したらニーズをクリアできなかった。
バランスよく施設を配置したら人口待機者が残った。
小学校を減らせなかった。学校は残しておきたいという気持ちがあった。
巣鴨のような高齢者が集中する地域や、人口が減ってしまい移らざるを得ない地域をイメージせざるを得なかった。
遠方の小学校に通学するためのスクールバス等の活用を想定していくべきである。
施設が少ない地域だからこそ、地域の人と一緒にこれからどういう施設が必要か考えていくということもできると考える。

以上から多い意見をまとめると

- ・ バランスのよい配置が必ずしも良いということではないこと
- ・ 人口集中地区と減少地区が発生するのはやむを得ないこと
- ・ 少子高齢化社会における今後の学校の在り方を検討する必要があること

（学区の考え方、複合施設の教育への活用、空き教室を作らないことと教室が足りなくなるなどのバランス等）

等の事項について、ご意見をいただくことができました。